

春日山原始林保全再生事業の進捗状況

保全方策	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)
(1) 照葉樹林の良好な状態での維持 (植生保護柵の設置)		○5箇所の植生保護柵を設置	○7箇所の植生保護柵を設置	○20箇所の植生保護柵を設置	○4箇所に植生保護柵を設置		○設置より5年が経過 ○保護柵のあり方の再検討	○設置より5年が経過 ○新規植生保護柵設置箇所の検討	○設置より5年が経過 ○新規植生保護柵の設計 (予定)	○設置より5年が経過 ○新規植生保護柵の設置 (予定)	
(2) 照葉樹林の多様性の維持 (植生保護柵による後継樹、下層植生等の保全)	○後継樹、下層植生等の生育環境調査の実施						○モニタリング調査結果の検証 (H25設置)	○モニタリング調査結果の検証 (H26設置)	○モニタリング調査結果の検証 (H27設置)	○モニタリング調査結果の検証 (H28設置) ○モニタリング調査項目・スケジュールの再検討	○新規・継続モニタリング調査の実施
(3) 後継樹の育成による文化財としての価値の修復				○後継樹種子の試験的採取の実施、苗木の育成	○後継樹種子の試験的採取の実施、苗木の育成	○後継樹種子の試験的採取の実施、苗木の育成	○実施計画に基づく種子採取の実施、苗木の育成	○実施計画に基づく種子採取の実施、苗木の育成	○実施計画に基づく種子採取の実施、苗木の育成	○実施計画に基づく種子採取の実施、苗木の育成	○実施計画に基づく種子採取の実施、苗木の育成
(4) 外来種ナンキンハゼの侵入の抑制			○外来種侵入状況調査の実施		○ナンキンハゼ駆除マニュアル案の作成			○修復植栽の実施 ○ナラ枯れ跡地における試験植栽の実施	○修復植栽の実施 (予定)	○修復植栽の実施 (予定)	○修復植栽の実施 (予定)
(5) 常緑針葉樹ナギの拡大の抑制			○ナギ数量調整の試行実験	○ナギ拡大状況把握調査					○ナンキンハゼの生育状況調査および駆除の実証実験 (予定) ○ナンキンハゼ抑制方策の再検討 (予定)		
(6) ナラ枯れの拡大の抑制	○緊急を要する保全事業の実施 (ビニールによる被覆等)	○緊急を要する保全事業の実施 (ビニールによる被覆等)									
(7) 花山・芳山地区人工林の保全・利活用	○人工林に関する基礎調査の実施	○楡皮採取 1.06 ha、266本	○楡皮採取 0.24 ha、160本	○楡皮採取 0.24 ha、152本	○楡皮採取 0.83 ha、300本		○楡皮採取 1.68 ha、365本	○楡皮採取 0.91 ha、163本	○楡皮採取 (予定) 2.25 ha	○楡皮採取 (予定) 2.25 ha	○楡皮採取 (予定) 2.25 ha
(8) 保全事業を円滑に実施し得る仕組みづくり (9) 多様な主体の参画 (10) 春日山原始林に関する基礎情報のマネジメント			○春日山原始林を未来へつなぐ会設立			○普及啓発資料案作成	○春日山原始林4K映像の撮影	○奈良公園バスターミナル・レクチャーホールにおける講演会等の開催			
委員会・部会等	○第1回委員会 ○第1回花山・芳山部会	○第2、3回委員会 ○第2回花山・芳山部会	○第4、5回委員会	○第6~9回委員会 ○第3回花山・芳山部会	○第10回委員会 ○ナラ枯れWG準備会	○第1、2回後継樹WG ○第1回ナラ枯れWG ○第11回委員会	○第3回後継樹WG ○第2回ナラ枯れWG ○第12回委員会 ○第4回花山・芳山部会	○第4、5回後継樹WG ○第13回委員会	○3委員会合同意見交換会 (春日山原始林保全計画、奈良公園植栽計画、奈良のシカ保護管理計画)		